

9月定例会 一般質問通告一覧表

1 財政運営について	1 中学校大規模改修について	2 1 障害児保育について 新教育委員会制度のもとでの教育条件整備のあり方について	2 1 交通安全について 乳幼児の健康について	2 1 子ども医療費助成拡充について 薬物濫用の防止に対する取り組みについて	1 健康日本一を目指して	2 1 ため池整備と防災対策について 放課後児童クラブの充実について	2 1 農業振興について 空き家対策について
山田 忠	田代 和誠	新原 善信	竹腰 昭	百瀬 光子	佐藤 尚武	入江 和隆	佐々木益雄

個人質問

早急な対応が望まれる
空き家対策！



佐々木益雄議員
(清和会)

住宅の老朽化、核家族化に伴い年々空き家は増加し県内の空き家数は32万戸を数え、近年防災、防犯、衛生、景観等大きな問題が生じています。小郡市内の空き家は429軒、その内93軒が危険な状態であると昨年度の調査結果がでていきます。

全国の401自治体が空き家条例を制定している今日、小郡市に於いても独自の空き家対策等早急に取り組みを考えるべきと思いますが①空き家条例の制定について、②空き家バンク制度の創設について、③定住支援員の配置についてお尋ねします。

市長―①現在、法律に基づく措置をとった実績はありませんが、今後さらに空き家戸数は増加するものと思われ、空き家は生活環境などに深刻な影響を及ぼしていることから、

所有者に適切な管理をお願いしています。②現在、空き家バンク制度の制定に向けた検討を行っており、国の方針や先進的に取り組んでいる自治体を参考に進めていきたいと考えています。

都市建設部長―②都市計画法第34条11号、12号や地区計画制度を市街化調整区域の中に導入し、空き家バンク制度を制定する方向で進めていきたいと考えています。

総務部長―③定住促進を図るための企画や移住者の橋渡しし役等として、本市に有効性があるか検討していきます。



放課後児童クラブの
充実について



入江和隆議員
(清和会)

本市では8つの小学校で12の放課後児童クラブ(学童保育)が活動を行っています。

①条例では平成33年度から1学童保育の児童数を40人以内にするようになります。現在は6箇所の学童保育で60名程度を受け入れていますが、施設改善の計画的な取り組みについて、②学童保育毎の運営の統一化と適正化の方針について、③三小小学校児童数増加に合わせた学童保育受け入れ増について、④トイレの増設や病気の際の休憩スペースの補正予算での整備について、⑤就学援助世帯に対する学童保育利用料補助の取り組みについてお尋ねします。

市長―①クラス分けなどの対策を講じ、施設整備が必要な学童については学校や教育委員会と協議を進め、条例基準を満たす建て替え、改修を順次進めます。

②現在の各学童保育運営委員

会による運営を联合会方式に移行する研究や協議を重ねます。

保健福祉部長―③学校や教育委員会と協議中で、早く結論を出したいと思います。④設
備面も各学童と協議を進めま
すが、補正での対応は難しい
状況です。

⑤子ども・子育て支援事業計
画の考え方から今後利用料の
補助について考えていきたい
と思います。



健康日本一を目指して



佐藤尚武議員
(理尚会)

日本では、100才以上の
人口が約6万1千人(小郡市

は32人)で、平均寿命は男性
が80.5才、女性が86.6才。
“健康で長生き”が大切だと
思います。①市長公約の健康
づくり日本一の施策につい
て、②あすてらすは投資32億
円、毎年コストが約1億円か
かっています。③国保の医療費は全
国平均が一人当たり33万3千
円で、小郡市は37万7千円で
す。全国平均まで減少させる
と約5億円の節減となります。

1億円かけてでも健康増進を
図るべきだと思えますが、そ
の取り組みについて、④国保
の歯科医療費はいくらかかっ
ていますか。また8020運
動はなぜやめたのかお尋ねし
ます。

市長―①小郡市健康増進計画
に基づき推進しています。乳
幼児健診をはじめ、各種検診
の実施、また健康づくりのた
めの啓発活動等を行っています
。自主的な運動への取り組
みを目標に各行政区で公民館
活動を展開しています。②26
年度は施設全体で34万人の利
用があり、特に温泉は外出促
進やコミュニケーション促進、
要介護者等のリハビリ効果な

どもあり、トレーニング室等
は体力維持にも役立つしてい
ます。③健康運動リーダー養成
を行い、小郡市健康増進計画
に基づき取り組みます。

保健福祉部長―④歯科医療費
のみの金額についての詳細は
不明ですが、3億円を超えて
いる状況です。8020運動
は行っておりませんが、あす
てらすフェスタ等を活用して
歯の大切さについては訴え続
けています。



トレーニングルーム及び満天の湯(あすてらす)

薬物乱用防止について



百瀬光子議員
(公明党)

近年、危険ドラッグ等薬物
の乱用が原因とみられる死亡
や健康被害、事故等が急増し、
薬物の乱用は深刻な社会問題
になっていきます。さらに最近
私達の身近な所でも薬物に関
する事件が起こっておりま
す。①薬物乱用の防止に関す
る学校における教育と啓発に
ついて②薬物乱用の防止に関
する市民への啓発についてお
尋ねいたします。

教育長―①専門的知識を有す
る外部講師や養護教諭による
薬物乱用防止教室を開催して
います。今後は更に、児童生
徒の感性に訴えたり、参加体
験を重視する学習指導を工夫
し、取り組みの充実を図って
いきます。
市長―②福岡県は県下におけ
る薬物の乱用による被害が深
刻化している状況を踏まえ、
平成26年12月福岡県薬物乱用
防止に関する条例を公布し、
具体的な方策が推進されてい
ます。本市におきましては、

県の啓発活動の取り組みに協
力するとともに薬物乱用防止
等のポスターの掲示やリーフ
レットの設置等により啓発活
動を行っています。今後はさ
らに広報誌やホームページな
ど、より多くの市民への啓発
活動を行います。

教育部長―②今後、社会教育
事業として、家庭教育学級や
成人講座の中で薬物乱用防止
講座等を開始することは可能
かと思えます。また地域の方
が多く集まる校区公民館での
薬物乱用防止の周知について
推進していきます。



歩道と自転車運転 について



竹腰 昭議員
(共産党)

全国的に歩道上で自転車と歩行者の事故が頻発しています。この頃、小郡市でも被害者の話をよく耳にします。そこで歩道と自転車運転にかかわる市民への小郡市の対応について、また歩行者自転車運転道の整備状況をお伺いします。

市長―近年、自転車の利用が進む一方で道路整備や交通ルールの徹底といった環境整備が進んでいない中、自転車の対人事故が多く発生しております。市内の県道や幹線市道におきましても歩道の未整備区間が多く危険な箇所も存在し、整備の必要性があることは十分認識しています。自転車乗用中の事故では自転車利用者側の交通違反が多く、交通安全思想の普及、交通道徳の高揚に関しては、小郡警察署も小・中学生や小郡大刀洗広域シルバー人材センター会員への自転車交通安全教室

を開催され、自転車の交通安全全について講習を行っていただいています。平成27年6月1日に改正道路交通法が施行され、悪質な自転車運転者に対し、安全講習を義務づける制度が整備されています。地元住民や学校などと協議を行いなながら道路整備を進め、交通事故をなくす小郡市市民運動本部の街頭啓発などの機会を活用し自転車利用者に対し安全運転を推進します。

と今後の子ども・子育て支援法による子育て支援充実に向けて、障害児保育のための条件整備をどのようにしているのかお尋ねします。

市長―市内保育施設における障害児数は、私立保育園への障害児補助金対象児童8名、公立保育所の加配保育士対象児童5名、加えて配慮が必要な園児が公立、私立合計8名です。現在、障害児が在園する場合、私立保育園には、加配保育士を1名配置していますが、補助金が1園当たり月額18万8千円で、障害児が複数名在園する場合、必要な数の加配保育士の配置を行うことが難しくなっています。



障害児保育の 条件整備を



新原善信議員
(市民クラブ)

小郡市の障害児保育の現状

4月から始まった子ども・子育て支援新制度の「事業計画」には障害児の受け入れ態勢の明確化、保育所の優先利用など障害児への配慮、財政支援の強化、多様な障害児支援の充実を図ることなどが掲げられました。そのような中、今年度から私立保育園運営費に障害児保育に対する加算項目が設けられています。このようなことから、現在の規程を見直す時期に来ていますの

で、他市の状況等を参考に各保育園と協議しながら見直しを検討したいと考えています。



大規模改造について



田代和誠議員

本年度6月議会で国への補助金申請が採択されなかったという理由で教育設備関連関係予算の一部が減額補正予算として提出されました。議会として慎重審議を行い、苦渋の選択で賛成をいたしました。中でも小郡中学校大規模改造のトイレ改修工事が補助金がつかなかったことで延期になりました。しかし、緊急性を要するというところで7月に総

務文教常任委員会全員で現地視察を行いました。とても劣悪な状況に「なぜすぐに現場を見に行かなかったのか」議員としても反省をいたしました。今年度中に国の補助金がつけば補正を上げてでも早急に対応したいとの強い想いはお聞きいたしておりますが、もし来年度も補助金が付かなかった場合の対応をお尋ねいたします。

市長―万が一、補助金が付かないときには、調査をしながらしるべき判断をしたいと思っております。単費でやらなければならないときは、当然単費でやります。

財政運営について



山田 忠議員
(清和会)

平成26年度の決算について、全般的に財政運営は良好と理解していますが、①財政状況と今後の財政運営について、②扶助費、社会保障費等の増加が予想される中、積極的な自主財源の確保について、③来年度の予算編成にあたって、老人クラブに対する運営費としての補助金の増額について、また、老人クラブの活性化に向けた市の関わり方についてお尋ねします。

市長―①第2次行政行動計画に基づく行財政改革の推進により市債残高の減少、基金残高の増加など着実に財政の健全化を進めています。しかし、人口減少社会の中、税収増は期待できない状況にある一方、公共施設等の更新時期を迎えるため経費の増加が予測され、今後厳しさが増してくると思われまます。②工業団地の開発を始め市有財産の活用など、自主財源の確保に努めます。**保健福祉部長**―③現状では、

運営費の増額は考えておりません。単位老人クラブが連合会から脱退されている状況がある中で、市としてどのような支援ができるか協議してまいります。その中で、例えば地域のためにこういうことをやっていきたいということには、金銭面を含め必要な支援をしていく仕組みを作っていくかなければいけないと思っていまます。



小郡市議会会議録の 閲覧ができます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。
なお、平成27年9月の市議会会議録は、平成27年11月下旬頃よりご覧いただける予定です。

小郡市議会 本会議・常任委員会の インターネット中継が ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、本会議（平成22年9月以降）及び常任委員会の生中継・録画中継がご覧いただけます。
※大変ご迷惑をおかけいたしますが、システムの関係上、常任委員会の録画中継につきましては、暫くの間、開催から30日間の閲覧となります。

請願・陳情

市政等について意見や要望がある場合、どなたでも直接市議会に請願・陳情を提出することができます。

議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といえます。

請願と陳情にはその取扱いに次のような違いがあります。

請願

定例会で審議し、その内容が妥当と認められるものについては、採択し、必要な対応を行うとともに、その結果を請願者に通知します。

陳情

全議員にその写しを配布します。

請願、陳情については、随時受け付けておりますが、各定例会での審議の都合上、締め切りがございます。

請願・陳情の提出方法、その他ご不明な点等がございましたら、議会事務局にお問い合わせください。

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人に対し、次のような行為をすることは禁止されています。また、有権者が寄付を求めるとも禁止されています。

- 入学・卒業・就職・出産などの祝いに金品を贈ること
- 病氣見舞いに金品を贈ること
- お中元やお歳暮を贈ること
- 葬式の花輪・供花を贈ること
- お祭りの時にお金を寄付したり、お酒を贈ること
- 議員が年賀状等のあいさつ状を出すこと（答礼のための自筆によるものは除く）

